

ありがとうあふれる3月



*** あらわそう ありがとうの気持ち ***

○「2月～にげる」とはよく言ったもので、あっという間に3月を迎えてしまった気がしています。3月は「お世話になった人やものに感謝の心をもつ」と「進学・進級への喜びと意欲をもつ」ことが重点になります。卒業する6年生に「ありがとう」の心を贈り、6年生からは、下級生や親・学校へ「ありがとう」の心が返ってくる。「ありがとう」が学校中にあふれる3月になることを目指します。そして、卒業に向けた各学年のいろいろな取り組みを通して、子どもたちの心に「やさしさ」が大きく育ってくれることを願っています。

*** 親の涙 ***

○昔、3年生を担当したとき、学級の子どもが友達と二人で万引きをしたことがありました。それは、つい出来心でのことで、後に尾を引く心配はありませんでした。翌日、子どもが神妙な顔で教えてくれた「お父さんお母さんがお店で泣いていたさ…」の一言に、もうこの子は大丈夫だろうと確信しました。○6年生の最後の授業参観日で、お母さんが泣きながら子どもの作文を聞いていました。でも、聞いていた場所が、教室ではなく廊下だったのです。きっと子どもから「学校には来ないで」とでも言われたのでしょうか。でも、お母さんは教室には入ってその涙を見せてあげてほしかったです。○たとえ時代が変わっても子どもを思う親の気持ちは、愛であふれているものです。3月＝卒業式。子どもたちの人生の大きな節目に、誰に遠慮することなく、しっかりと親の涙を見せてあげてほしいです。涙で、子どもへの思いは伝わります。

校長 音川 忠志

学力定着への取組・チャレンジテスト

- 今年度、学力向上に向けた取組として、本校独自の「基礎力向上テスト」や放課後学習、家庭学習の工夫等、続けてきました。
- 道教委は、各学年の基礎学力をすべての子どもたちに確実に身に付けさせることを目標に「チャレンジテスト」の取組を実施し、別海町でも全校で取り組んでいます。
- 2月のテストで、本校は国語・算数ともにほとんどの学年が、全道平均点と同様か平均点以上となり、子どもたちの頑張りが結果となって現れました。そして、各学年の課題も明確になりましたので、学年別に<重点指導事項>を設定し、残り1ヶ月の学習と春休みの家庭学習で一つでも学習したことが定着するよう努力していきます。学年末の取組に、ご家庭でのご協力をお願いいたします。



- *** 学年別 重点指導事項 ***
- 1年生**
国語～カタカナ（例：カレンダー）
算数～問題を読んで式を立てる（+、-）

2年生
国語～決められた字数の短文、漢字（書き）
算数～問題を読んで式を立てる（×）

3年生
国語～文の間違い。当てはまる漢字を選ぶ。
算数～問題を読んで式を立てる（÷）

4年生
国語～適切な語句を選ぶ。漢字（読み・書き）
算数～2ケタ以上の同士の計算（×、÷）

5年生
国語～決められた字数の短文、漢字（読み・書き）
算数～小数の計算（+、-、×、÷）

6年生
国語～決められた字数の短文、漢字（読み・書き）
算数～分数の計算（+、-、×、÷）、文章問題